

教科	国語	単元名	帰り道
----	----	-----	-----

本時のねらい

律と周也の変容の違いから、二人の成長を読み取ることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートのアンケートを活用し、自分の立場を明らかにして考えを交流する。
- ・ロイロノートの提出箱に意見を提出することで、一人ひとりの意見を素早く全体で共有する。
- ・授業中に考えが変わった場合は再提出させることで、考えの深まりを児童自身が実感できるようにする。
- ・全体共有をしやすくするために、自分の考えを表現しやすいワークシートを作成し、ロイロノートで配布する。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC (iPad)
- ・授業支援ソフト (ロイロノート)
- ・電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習（律と周也の人物像や出来事の移り変わり）の復習をする。 ○めあて「登場人物の変容に着目して、二人の成長を捉えよう」を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で学習した、律と周也の人物像や出来事の移り変わりについて、ロイロノートの提出箱に自分の考えをまとめて提出させることで、全員の理解を確かめる。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○第1章・第2章を比較しながら、「律」と「周也」の変容の違いを捉える。 ○「律と周也のどちらの人物の方が、より成長できたのか」に、自分の考えを明らかにしてから考えを書く。 ○交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板で本文を提示し、「1」と「2」を比べながら読むことで、それぞれの変容を読み取らせる。 ・ロイロノートのアンケート機能を活用し、「律と周也のどちらが成長したか」という発問に対し、「周也」「律」「どちらとも言えない」のいずれかを選ばせてから、自分の考えをノートに書かせる。 ・全員の立場が瞬時にわかることで、自分と違う意見に興味をもって聞こうとする態度を育てる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの人物の成長を比べ、気付いたことを書かせ、ロイロノートの提出箱に提出させることで、多様な見方・考え方が理解できるようにする。

1人1台端末を活用した活動の様子

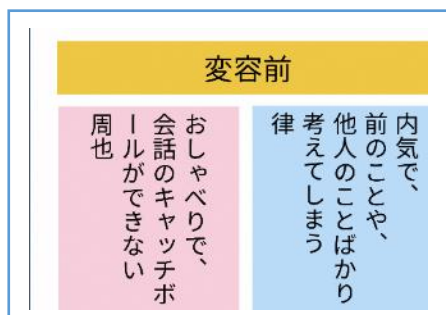


写真1：変容前の律と周也の人物像を確かめるための資料



写真2：タブレット PC に入っている本文を読みながら、「1」「2」の比較をしている場面

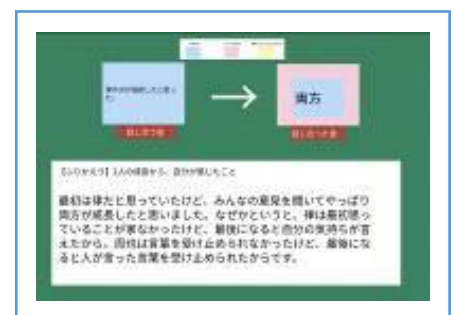


写真3：二人の成長から感じたことの振り返り

児童生徒の反応や変容

- ・ロイロノートのアンケート機能は、リアルタイムで投票の様子を見ることができるため、「律だ！」と瞬時に投票した児童が、「あれ？周也の人もあるの？なぜ？」と、自分と友だちの考えを自然と比較し、興味を示す姿が見られた。
- ・振り返りの上段は、話し合う前と後で、自分の考えがどう変わったかを色で表した。色が変化した児童も、そうでない児童も振り返りには、自分の考えがより深まったことを詳しく書いている児童が多く、視覚的に分かりやすく立場を表すことは有効であると感じられた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

タブレット PC を使うべき場面をきちんと絞ることが大切だと感じた。この授業の場合は、「深める発問」と「振り返り」の2つの場面のみである。アンケート機能は、児童が考えをもつためのきっかけづくりとして使うのがおすすめである。深く考える場合は、ノートなどでじっくり考え、アンケートでは、第一印象で答える問題や二者択一の問題などで活用すると、思考を促すツールになると思った。